

〈キャリアサポートプログラム教育目標〉

標準的な看護を実践でき、地域で生活している全体像(及び生活像)を看ることができる看護師を育成する

*意思決定支援ができる看護師 *退院支援ができる看護師

期間	急性期(3年)	回復期(2年)	慢性期(1年)
	青森県立中央病院	平内中央病院	外ヶ浜中央病院
ねらい	<ol style="list-style-type: none"> 急性期病院としての標準的な看護を実践できる。 急性期病院の役割(地域包括ケアも含む)を理解し、その機能に応じた専門性が高い看護を提供できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 青森圏域における地域医療・地域の特徴を理解し課題に取り組む能力を身につける。 地域包括ケアにおける機能分化を理解し、後方病院の役割を理解する。 チーム医療の一員として多職種との連携を通し患者個々にあった看護を展開する。 	<ol style="list-style-type: none"> 地域包括ケアシステムを理解し、後方支援病院の役割を理解する。 慢性期病院における看護ケアを理解し実践できる。 地域包括ケアにおける回復期病院としての医療・看護の継続の方法と自分の役割を知る。 ・青森圏域の地域連携の課題を知る。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 自立した看護実践に基づきケアの受け手に合う個別な看護を実践ができる。 標準的なケアだけでなく、退院後を見据えた支援、社会資源を理解できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 回復期にある患者の適切なアセスメント能力を養う。 回復期患者の特徴を理解し継続看護ができる。 退院後を見据えた在宅や介護施設へ退院支援ができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 患者の全体像を理解し、その情報をアセスメントしてケアに活用できる。 ・慢性期病院における対象者のニーズを捉えることができる。 ・患者の退院後の生活がイメージでき、退院に向けて必要なケアを提供できる。 ・急性期を経過した患者の特徴を理解し自立を助けるために必要なケアを計画できる。 ・患者の意思決定支援に必要な看護を提供できる。 ・地域の保健医療福祉の資源を理解する。
	青森県立中央病院	平内中央病院	外ヶ浜中央病院
方法	<ol style="list-style-type: none"> 本人が希望する分野に配属する。(がん診療センター、循環器センター脳卒中センター) プリセプターシップにより、部署で現場教育を受けながら看護実践を行う。 教育支援システム:キャリアラダーにそった研修プログラム(別紙:レベルⅠ～Ⅲの研修)を受講する。 採用2年目でレベルⅡを終える。 レベルⅢ(3年目)で、医療連携部で1日見学実習を行う。 研修や受け持ち患者を通して、急性期病院における退院支援を行う。 	<ol style="list-style-type: none"> 一般病床・地域包括ケア病床に配属する。 クリニカルラダーレベルⅢから開始し、教育プログラムに添って研修を受講する。 セルフケアを含めた個別の退院指導や地域連携パスに沿った支援などの退院調整を行う。 2年目後期(10月・11月) 地域医療連携室に勤務し、他施設との連携や平内町の社会資源等を利用した退院調整を行う。 2年目後期(12月・1月・2月) (1)外来に勤務し、病棟・他施設との連携等を行う。 (2)外来看護の実践と訪問診療の同行や訪問看護を行う。 	<ol style="list-style-type: none"> 一般病棟へ配属し、慢性期病院における病棟での看護を実践する。 ・認知症チームに参加し、活動を学び実践につなげる。 ・地域の課題を理解するために認知症患者を受け持ち、退院調整カンファレンスの準備、実施に関わる。 クリニカルラダーに応じた教育研修を受講する。 施設間連携を理解するために以下の内容を実施する。 ・介護保険を理解するために老健施設で研修を行う。 ・地域連携を理解するために外ヶ浜中央病院での施設連携会議へ参加する。 ・可能であれば、巡回診療へ同行する。
評価	<ol style="list-style-type: none"> 部署独自の新採用者用チェックリストを活用して看護技術や専門分野の技術の評価する。 「教育支援システム」に沿って、クリニカルラダー各レベルの看護実践能力、組織的役割遂行能力、自己教育・研究能力の項目について評価する。 人事評価における面接 	<ol style="list-style-type: none"> クリニカルラダー評価表活用 事例検討発表 定期的面談と評価 一般看護、外来看護、地域医療連携室訪問診療・訪問看護実践能力の振り返りと評価 	<ol style="list-style-type: none"> 看護技術チェックリスト 外ヶ浜中央病院におけるクリニカルラダー評価 目標管理シート 面談
備考	・他施設から戻った時の教育支援	・クリニカルラダーのレベルの調整が必要	

ジェネラリストサポートチーム研修一覧(青森県立中央病院)

	レベルⅠ (集合研修25)	レベルⅡ (集合研修12)	レベルⅢ (集合研修9)
4月	<p>* 安全な静脈注射Ⅰ</p> <p>①倫理・安全・感染</p> <p>②採血・注射の基礎と演習</p> <p>③薬剤管理・麻薬</p> <p>* 感染管理</p> <p>④循環管理・抗がん剤</p> <p>* 感染管理Ⅰ-①</p> <p>①検体採取</p> <p>検体の取り扱い</p> <p>②中央材料部の</p> <p>役割・器材の演習</p> <p>* 看護と倫理</p> <p>* 輸液ポンプ・シリンジ</p> <p>ポンプ操作研修</p> <p>* 看護必要度</p> <p>* ポジショング</p>	<p>ナーシングスキル動画研修受講</p> <p>・レベルⅠ：1講義</p> <p>「医療安全の基本を知る」</p> <p>・レベルⅡ：5講義</p> <p>「医療安全の基本を知る」</p> <p>「看護記録」</p> <p>「アサーティブコミュニケーション」</p> <p>「個人情報について」</p> <p>「多職種で取り組む転倒・転落」</p> <p>・レベルⅢ：5講義</p> <p>「NNN入門」</p> <p>「対人能力向上のためのコミュニケーション術」</p> <p>「身体拘束について考える」</p> <p>「最新のエビデンスに基づいた褥瘡管理</p> <p>「アウトブレイクを防ごう」</p>	
OJT	<p>輸液・シリンジポンプ</p> <p>尿道カテーテル</p>		
	<p>病室内環境整備</p> <p>標準予防策</p> <p>ポジショング</p>		
5月	<p>* 輸血療法/輸血操作</p> <p>* 安全管理Ⅰ</p> <p>* コミュニケーションスキル</p> <p>* 医療連携Ⅰ/退院支援</p> <p>* プリセプティ研修</p>	<p>レポートの書き方</p>	<p>リーダー研修の他に</p> <p>看護研究計画書の研修会</p> <p>(講義4回、グループワーク4回)</p> <p>* 年度末に看護研究計画書</p> <p>発表会あり</p> <p>* グループで実施する</p>
6月	<p>* 呼吸管理・循環管理</p> <p>①基礎</p> <p>②実践</p> <p>* 感染管理Ⅰ-②</p> <p>* エンゼルケア/創傷管理</p> <p>* コスト管理/物流管理</p>	<p>看護と倫理</p> <p>アドバンスケアプランングについて</p> <p>呼吸管理</p>	<p>安全管理Ⅲ</p>
7月	<p>* 安全な静脈注射</p> <p>1-④CV管理</p> <p>*メンバーシップ</p>	<p>臨床実習指導</p> <p>創傷管理Ⅱ</p>	<p>感染管理Ⅲ</p> <p>コスト管理Ⅲ</p>
9月		<p>感染管理Ⅱ①</p> <p>リーダー業務</p>	<p>レポートの書き方</p> <p>A L S</p>
10月	<p>* プリセプティ研修②</p>	<p>コスト管理</p>	<p>看護と倫理Ⅲ</p> <p>エンドオブライフケア</p>
11月	<p>* 感染管理Ⅰ-③</p>	<p>医療連携Ⅱ</p>	<p>プリセプターシップ</p>
1月		<p>感染管理Ⅱ②</p>	
2月	<p>私のめざす看護発表会</p>	<p>ケースレポート発表会</p>	<p>キャリアプラン</p>